

新時代に求められる文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進方策について  
－「文化芸術推進基本計画（第2期）」の策定に向けて－

# 文化政策部会ヒアリング

令和4年8月22日

一般社団法人 アート東京 代表理事/演出家  
來住 尚彦



# 來住 尚彦

1985年 東京放送(現TBSホールディングス)に  
Audioエンジニアとして入社  
その後、ラジオの音楽番組の制作に移動  
全国ツアーのプロデュースやコンサート等の演出

1996年 ライブハウス「赤坂BLITZ」立上げ、支配人に就任

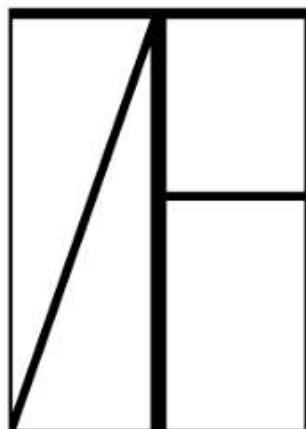
2008年 エンターテインメントエリア「赤坂サカス」を立上げ

2015年 アート業界に活躍の場を移し  
「アートフェア東京」エグゼクティブプロデューサーへ

2019年 artKYOTO 総合プロデューサー就任

2021年 art stage OSAKA 総合プロデューサー就任





# Art Fair Tokyo 2022

2022年3月11日(木) - 3月13日(日)  
東京国際フォーラム

Art Fair Tokyo 2022実績

出展者 **150** 軒

来場者数 **43,390** 人

出展者総売上 約 **32** 億 **【過去最高】**

後援大使館 **95** カ国

後援機関 **21** 機関

【後援】

内閣府 / 外務省 / 経済産業省 / 厚生労働省 / 文化庁 / 観光庁  
北海道 / 群馬県 / 福井県 / 京都府 / 大阪府 / 奈良県 /  
香川県 / 豊島区 / 富山市 / 金沢市 / 京都市  
日本赤十字社 / 毎日新聞社 / 文化放送 / TBSラジオ



会場となる有楽町の東京国際フォーラム 建築家ラファエル・ヴィニオリ  
出所) [www.t-i-forum.co.jp](http://www.t-i-forum.co.jp)



# 国内外の歴史的美術品から最先端現代アートまで購入可能



# 国内外から様々な方が来場



# VIP顧客を招待したOpening Ceremony



政府関係者や各国駐日大使（特命全権大使を含む50カ国以上の大使館関係者）、企業関係者の方々、文化関係者等様々な分野の方々にご来場頂きました。



※撮影時のみマスクを外し、セレモニー中及び会場内では常にマスクを着用

## 世界遺産二条城を舞台にした国際アートフェア artKYOTO 2019



初開催ながら、

**約1万人**の入場者を記録

アート作品の売上高は **5億円**にのぼり、  
京都に新たなアートマーケットを創出

**75カ国の後援大使館**をはじめ  
富裕層・VIPとの接点を形成





**【登壇者】** ※敬称略 ※役職名などは2019年当時のもの

- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 安倍 昭恵   | 内閣総理大臣夫人                             |
| 門川 大作   | 京都市長                                 |
| 近藤 誠一   | 公益財団法人 京都市芸術文化協会 理事長／元文化庁長官          |
| 佐々木 丞平  | 京都国立博物館 館長                           |
| 立石 義雄   | 京都商工会議所 会頭                           |
| 渡邊 隆夫   | 京都府中小企業団体中央会 会長／西陣織工業組合 理事長          |
| 田村 明比古  | 成田国際空港株式会社 代表取締役社長／前観光庁長官            |
| 大西 洋    | 株式会社羽田未来総合研究所 代表取締役社長                |
| 中野 善壽   | 東方文化支援財団 代表理事                        |
| コシノジュンコ | デザイナー                                |
| 來住 尚彦   | artKYOTO 総合プロデューサー／一般社団法人 アート東京 代表理事 |
- art KYOTO 2019



## レセプションパーティー KYOTO art night 2019

各国大使をはじめ、  
企業経営者や世界的VIP  
京都官民の代表者

そして

ギャラリーやアーティストが集い、

多彩な分野の招待者**625**名が集結





- 美術市(アートフェア)
- 若手アーティスト支援
- 舞踊劇
- 美術史体験ツアー

- 古美術から現代美術まで幅広いアート作品の鑑賞と購入がお楽しみいただける「美術市 (アートフェア)」
- 二条城の歴史を現代大衆演劇の早乙女太一と和楽器ユニットRin'が再現する「舞踊劇」
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、  
活躍の機会が奪われた次世代の芸術家を支援する「若手アーティスト支援」
- 狩野派をテーマに京都を回遊しながら美術史の変遷を体感できる「美術史体験ツアー」



約**2,300人**の入場者を記録

アート作品の売上高は**3.2億円**

**87カ国**の後援大使館をはじめ  
富裕層・VIPとの接点を形成



# 日本の舞台芸術 × 音楽が融合した新しい総合エンターテイメント 京都二条城を舞台に開催した『舞踊劇～乱舞～』

- ・舞台は日本の文化遺産
- ・日本の史実を元にしたストーリー



和楽器演奏

日本舞踊

剣舞・殺陣



MOVIE

<https://youtu.be/5FY1TQkGJ-M>

art stage  
**OSAKA**  
2022



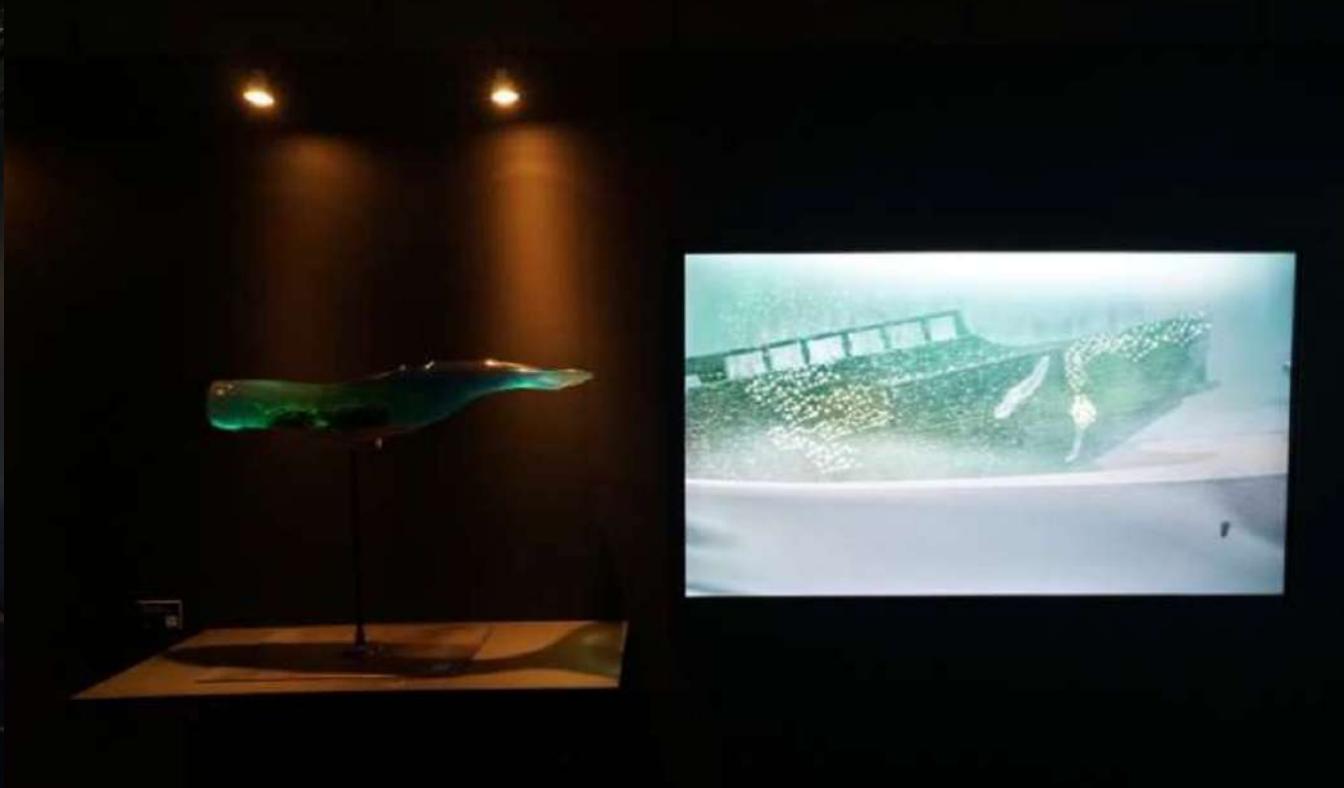
2022年6月3日(金) - 6月5日(日)  
堂島リバーフォーラム



# 実物作品とNFTデジタルアートのハイブリット展覧会『SHIP』



# 大丸松坂屋や海外各所で巡回ツアーを予定



# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## artTNZ produced by AFT with APCA

会期:2020年 9月17日(木)– 21日(月・祝) ※9月17日(木)は招待制

会場:TERRADA ART COMPLEX II (〒140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8)

主催:一般社団法人 アート東京

共催:一般社団法人 日本現代美術振興協会

特別協賛:寺田倉庫株式会社

協力:モエ ヘネシー ディアジオ株式会社/ナレッジスイート株式会社

「artTNZ produced by AFT with APCA」は令和2年度日本博イノベーション型プロジェクトです。



# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## artTNZ produced by AFT with APCA

### ■withコロナ時代にふさわしいアートイベントを開催

リアルな鑑賞、交流、購入の場として、皆様にとって楽しく有意義なアートフェアを開催すべく、以下の方針に沿って衛生面へ配慮し運営いたしました。

### artTNZ 3つのコロナ対策方針

1. 疑わしきはいれない(水際対策)
2. 1時間100名の入場制限(三密対策)
3. 完全予約登録制(追跡対策)



# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

artTNZ produced by AFT with APCA

## 対策実施内容



## 来場のお客様へのお願い



# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## 「持ち込まない、広げない、持ち出さない」運営を実施

### 事前予約



万一、発熱者・感染者が確認された際には、感染の拡大を防ぐため、来場者全員への早急な周知を行う必要があります。そのため、個人情報として氏名・電話番号・メールアドレスをご登録頂きました。



STEP 1 WEBでチケット予約  
氏名、電話番号、メールアドレス等を登録



STEP 2 顔認証登録URLと  
ID、パスワードがメールで送付



STEP 3 顔写真を登録

# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## 「持ち込まない、広げない、持ち出さない」運営を実施

当日

1

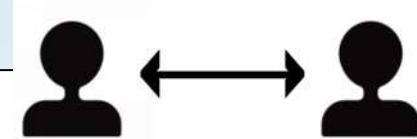
入場時に全員サーモカメラを通過



2

ソーシャルディスタンスを保つ

1.5m以上のゆとりを。  
規定の人数を超えた場合、会場内の  
人数制限も実施。



Check body tempreter

検温のお願い

If you have a temperature of 37.5 degrees or more,  
you can't enter the building.

体温 37.5 度以上の方  
ご入場できません

Please refrain from visiting  
if you are not feeling well or if you have a cold.

体調のすぐれないお客様、  
風邪の症状等がある方は、  
ご来場をお控えください

artTNZ



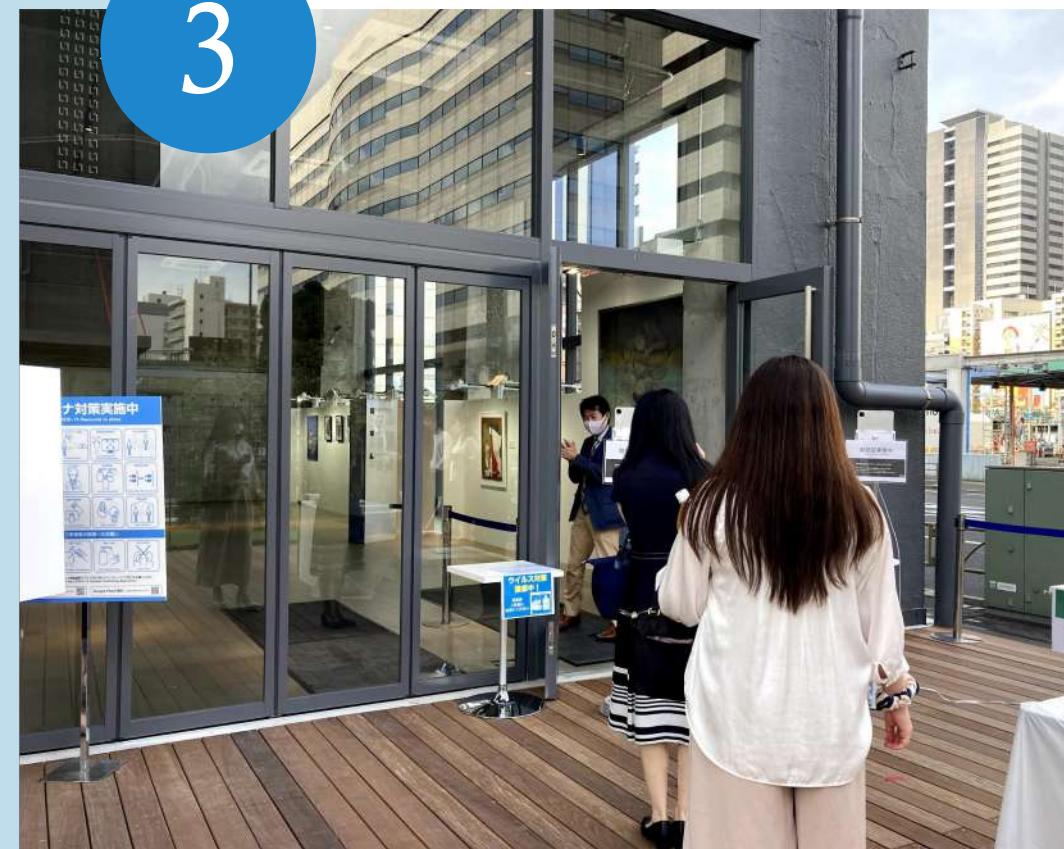
## 「持ち込まない、広げない、持ち出さない」運営を実施

### 顔認証受付

①で事前に登録した情報により顔認証で受付を行います。  
承認されなかった方は、再度登録を行い、承認を確認し入場。



3



4



## 「持ち込まない、広げない、持ち出さない」運営を実施

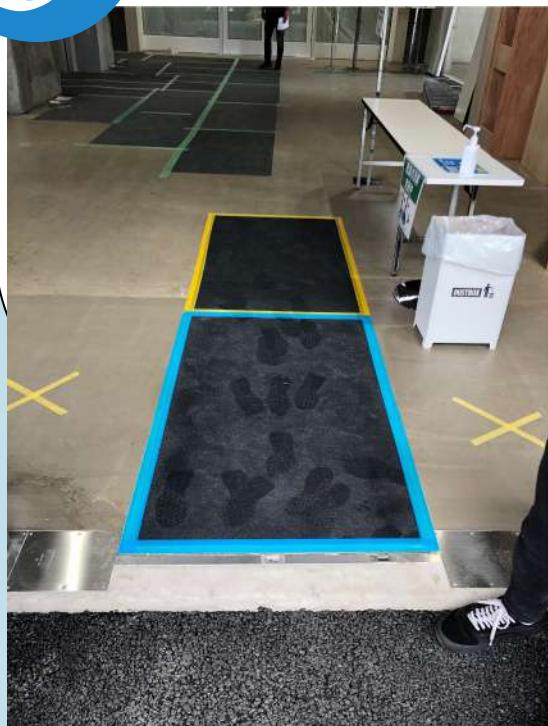
### 靴裏消毒

入場口での除菌マットを通過。

マットは15分に一度、次亜塩素酸を噴霧します。手指の消毒も徹底。



5

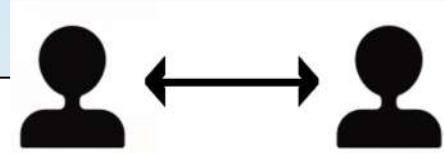


6



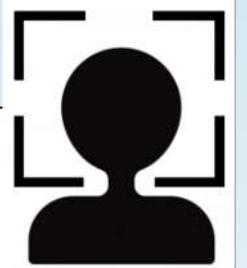
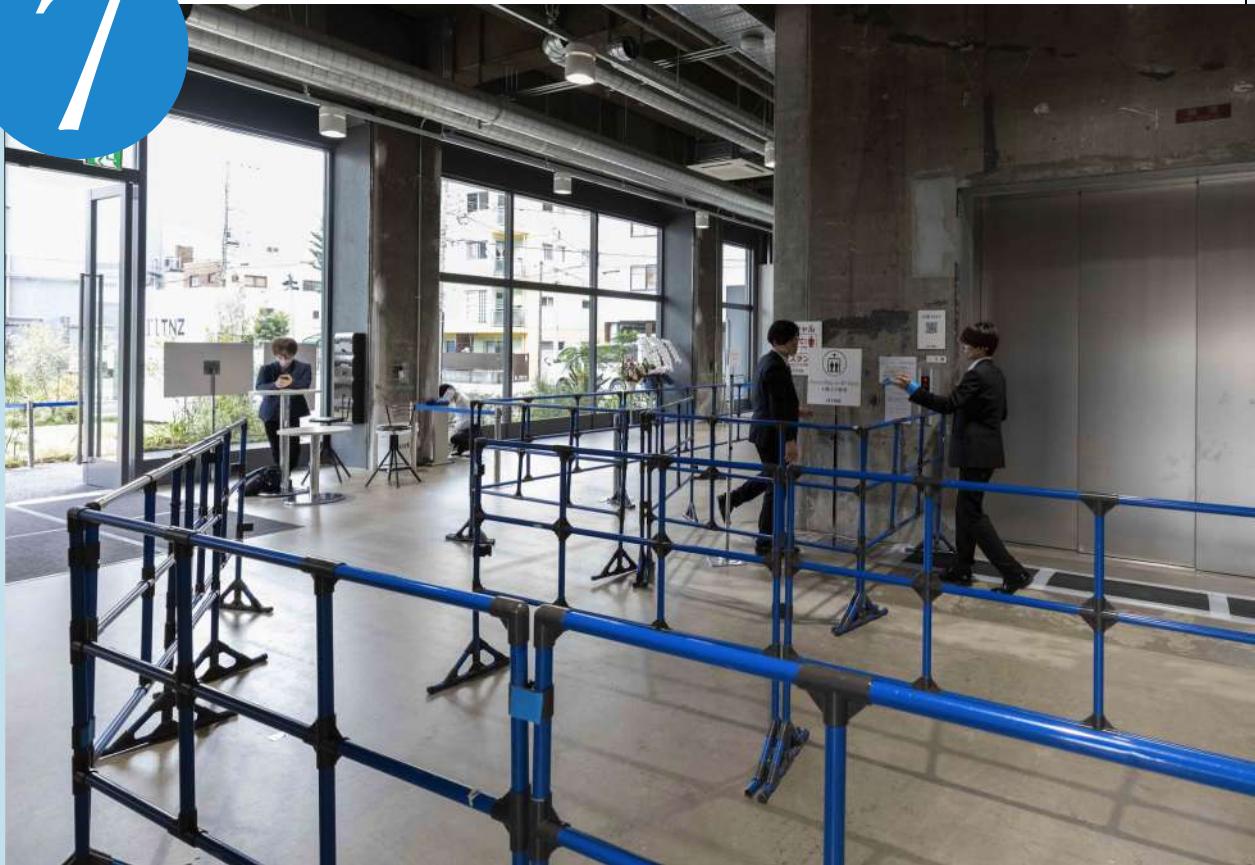
# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## 「持ち込まない、広げない、持ち出さない」運営を実施



ソーシャルディスタンス  
を保つ

7



退場時も顔認証

8

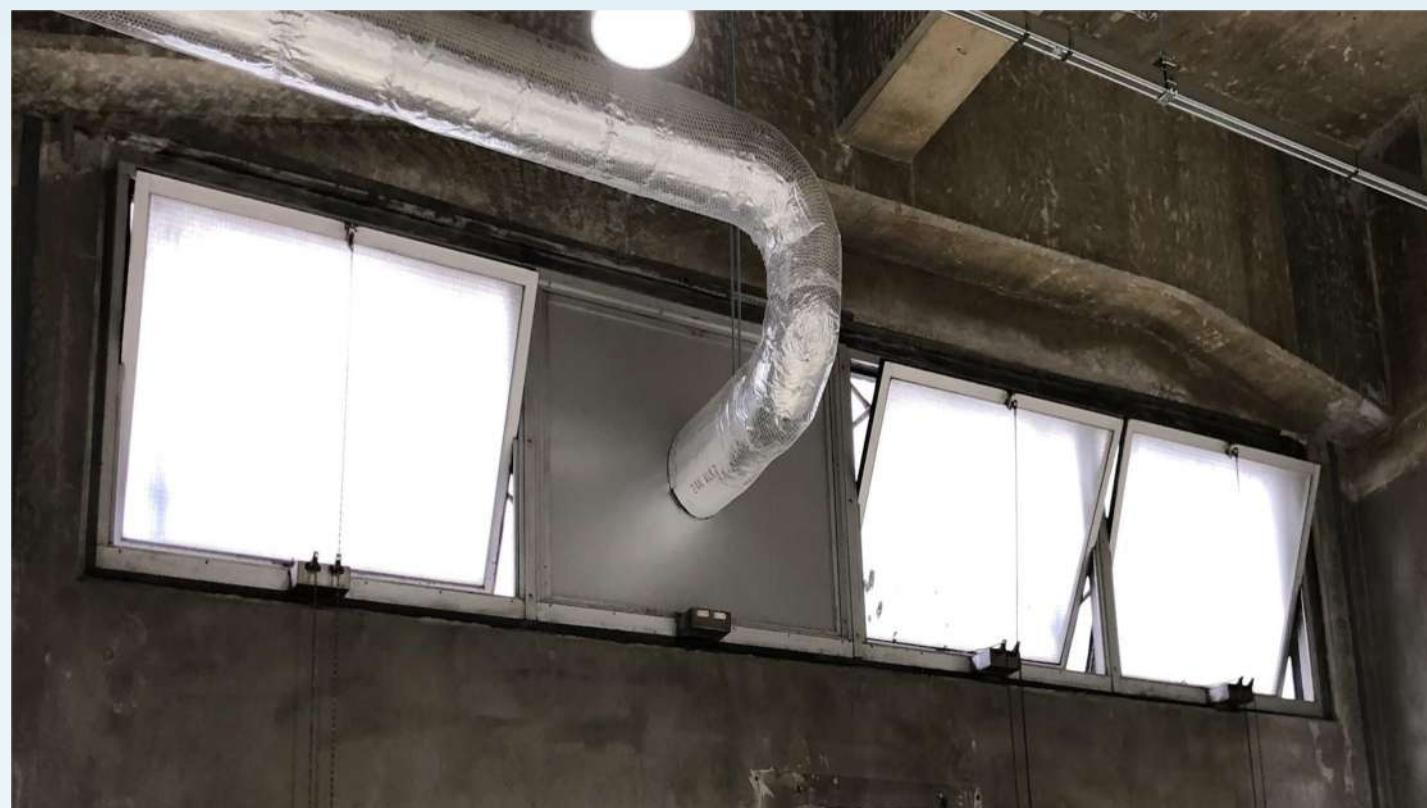


# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## 「入場制限、換気、清掃」による対策

新型コロナウイルス感染予防対策のため、  
1時間100名の入場制限・窓を開けての換気・清掃の実施

	16日(水)	17日(木)	18日(金)	19日(土)	20日(日)	21日(月)
11:00	設営日	プライベートビュー プレスビュー ヘルニサージュ (各回定員 200-250名)	① (定員100名)	① (定員100名)	① (定員100名)	① (定員100名)
12:00			② (定員100名)	② (定員100名)	② (定員100名)	② (定員100名)
13:00			③ (定員100名)	③ (定員100名)	③ (定員100名)	③ (定員100名)
14:00			④ (定員100名)	④ (定員100名)	④ (定員100名)	④ (定員100名)
15:00			⑤ (定員100名)	⑤ (定員100名)	⑤ (定員100名)	⑤ (定員100名)
16:00			⑥ (定員100名)	⑥ (定員100名)	⑥ (定員100名)	⑥ (定員100名)
17:00			⑦ (定員100名)	⑦ (定員100名)	⑦ (定員100名)	⑦ (定員100名)
18:00			⑧ (定員100名)	⑧ (定員100名)	⑧ (定員100名)	18:00 クローズ
19:00			⑨ (定員100名)	19:00 クローズ	19:00 クローズ	出展者 撤収↓
20:00		20:00 クローズ	20:00 クローズ			



△開催計画当初の入場時間枠コマ割り

△2階～4階の天窗開放による換気

## 「入場制限、換気、清掃」による対策

### ◆ 毎日閉館後に新型コロナウイルス除菌清掃の実施

感染症対策の実績豊富な一般社団法人日本防疫協会の協力を得て、定期的な除菌清掃の実施。感染予防対策に万全を尽くしました。

#### 清掃箇所と清掃方法

階段、エレベーター、各フロアトイレ

→安定型次亜塩素酸ナトリウムでの噴霧、バイオトロール\*での拭き清掃

入り口プラ柵、2階VIP・来場者休憩スペース

→バイオトロール\*の拭き清掃

協力：一般社団法人日本防疫協会

(\*バイオトロールとは：次世代除菌・抗菌液)



△階段での拭き清掃の様子

# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## withコロナ時代の新しい入退場管理 「顔認証入場システム」

紙チケットを廃止し、すべての来場者に事前に顔写真及び連絡先を登録して頂く「顔認証入場システム」を導入。チケットもぎりを省略したウォークスルー形式の入場で、来場者とスタッフの身体的な接触を回避するとともに、顔認証で申込者と来場者を完全に一致させ、万一の際に来場者追跡を行うことが可能となりました。



△入口には2台の機器を設置。来場者はもちろん出展者やスタッフなどの入館者全員にも、顔認証による入退場管理を行いました。

約0.3秒で顔を認識できるため、混雑を緩和し、密を避けたスムーズな入場が可能となりました。

# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## withコロナ時代の新しい入退場管理 「顔認証入場システム」



△退場口には1台の顔認証機器を設置。  
建物内にいる人数を把握し、  
密にならないよう入場管理を行いました。

購入者の情報 (1人目)  
席種名称 (ゾーン) ※席種備考をお申し込みの方

[ぴあ会員登録を入力](#)

氏名 **必須**  
姓  名   
(全角) (全角)

カナ氏名 **必須**  
セイ  メイ   
(全角カタカナ) (全角カタカナ)

メールアドレス **必須**  
  
(例) myaddress@pia.co.jp

電話番号 **必須**  
  
(例) 03000000000

ご入場の際は、事前にご来場者の顔写真のご登録が必要となります。  
下記の「利用ガイド」をご確認頂き、顔写真のご登録をお願いいたします。

9月21日  
会場  
TERRADA ART COMPLEX II

ご来場日  
9月21日

チケット情報  
氏名  
アート東京 01

予約  
10:00~

顔写真  
撮影のポイント

- 登録する顔写真は、カメラに向かって正面から撮影した写真をご利用ください。
- 写真は、なるべく直近のものが望ましく、最長でも6か月以内の写真をご利用ください。
- 太陽光の逆光下や蛍光灯などの反射がある場合での撮影、その他、フラッシュ撮影を行うと顔写真が鮮明に撮影できない場合がございますので、お気を付けください。
- 明るい場所で撮影してください。
- 撮影時、帽子の着用、メガネやサングラスを装着されている方は、外して撮影してください。

△ぴあ株式会社の申込受付システムと株式会社ロココの手ぶら顔認証システム「AUTH thru」との連携。  
チケットぴあより事前に申込者情報(同伴者含む)を登録し、その後顔認証専用URLより顔写真を登録。

# アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## 事前の健康管理と抗体検査・PCR検査を組み合わせた実証実験を実施

一般会期初日に予約された来場予定者(任意)を対象に、事前の健康管理と抗体検査、来場当日(18日)のPCR検査を組み合わせ、ワンストップで嚴重な感染症リスク管理を行う感染症対策ソリューション「MyPass」の実証研究(※)を行いました。

※AMED・令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」(代表研究機関:株式会社アルム・東京医科歯科大学)。



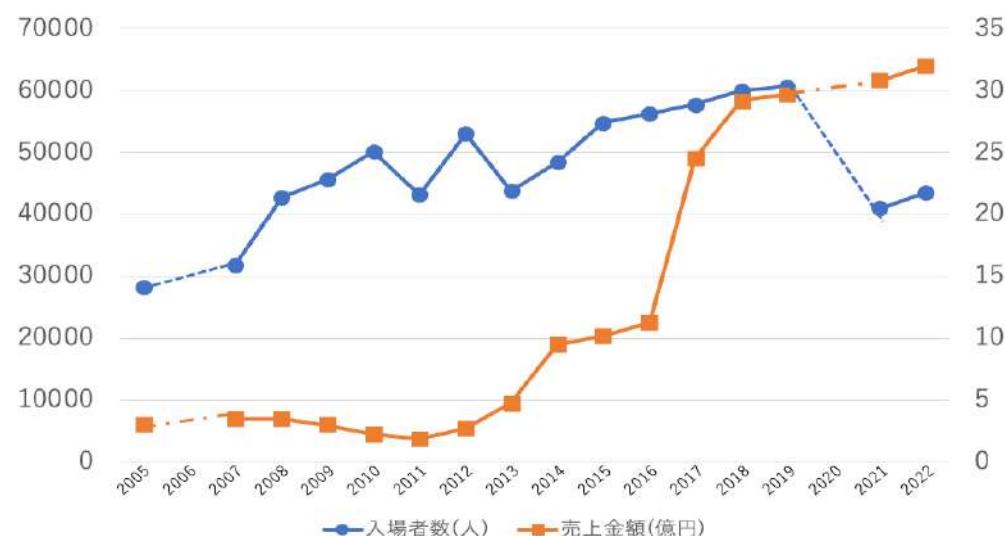
△事前にスマホアプリで体温や血中酸素濃度を計測し、記録。また、自宅に着く検査キットにより抗体検査を行い、感染症リスクのある来場者を特定する。

△事前の検査でリスクがあると判断された来場者は、当日会場にてPCR検査を実施。陰性の場合には入場をし、陽性の場合には保健所に連絡をとる仕組み。

## 2005年より続く 日本を代表する国際的な美術見本市 アートフェア東京 (AFT)

アートフェア東京は、2005年より開催されている国内最大級の国際的なアート見本市。国内外の厳選されたギャラリーが出展し、古美術・工芸から、日本画・近代美術・現代アートまで、幅広いジャンルの作品が展示・販売される。会期中は、歴史に紐づいた日本のアートを発信するだけでなく、東京のアートシーンやマーケットの“今”を伝える企画展示、関連するシンポジウムやパーティーを都内各所で開催する。国際的で多様なアートマーケットのプラットフォームであるアートフェア東京は、アートファンやアート関係者のみならず、各国大使、行政関係者、経済界の主要な人々の情報交換・社交の場として、多くの来場者が訪れる。(2022年実績:開催日2022年3月11日~13日,出展者150軒,来場者数60,026人,出展者総売上32億円,後援大使館95カ国,後援機関21機関)

開催年	入場者数(人)	売上金額(億円)
2022	43,390	32
2021	40,963	30.8
2020	—	—
2019	60,717	29.7
2018	60,026	29.2
2017	57,758	24.5
2016	56,300	11.3
2015	54,850	10.2
2014	48,468	9.5
2013	43,852	4.8
2012	53,010	2.7
2011	43,210	1.9
2010	50,075	2.3
2009	45,697	3
2008	42,779	3.5
2007	31,943	3.5
2006	—	—
2005	28,214	2



後援大使各位とのフォトセッション

## 古都・京都から世界に広く芸術文化を発信する artKYOTO

「artKYOTO」は、世界のアートシーンを牽引するべく、2019年、世界遺産 二条城を舞台にスタートした、国内外のギャラリー・美術商が厳選するアート作品を展示・販売する国際的なアートフェア。古美術から現代美術まで時代の古今を限定せず、歴史を踏まえながらも新たな視点で社会の価値を生み出すアートに関して、鑑賞から所有まで様々な体験を提供する。千年を超えて日本の都であった歴史を背景に、常に日本文化の発信地として革新を続けてきた京都。そして現在、経済や社会基盤等各方面において新たな価値創造のコアとなる可能性が一層高まっているアートマーケット。文化庁が移転する京都において、新元号・令和となった2019年に幕開けし、2020年は世界遺産・二条城と重要文化財・京都国立博物館 明治古都館にて開催。時代を超える価値あるアートを、京都から、社会に広く届けていくことを目指す。(2020年実績:開催日:2020年12月4日~6日,来場者数2,300人,出展者総売上3,2億円,後援大使館87カ国)



## “アートの保有”をさらに提唱 art stage OSAKA

「art stage OSAKA」は、東京で開催の「アートフェア東京」に続き、大阪での国際的なアート見本市として始動。戦後美術の盛んだった堂島・中之島で国内外の厳選されたギャラリーが、国内外のアートシーンを凝縮した現代アートの展示・販売を行う。国際的で多様なアートマーケットのプラットフォームである「art stage OSAKA 2022」は、アートファンやアート関係者のみならず、各国大使、行政関係者、経済界の主要な人々の情報交換・社交の場として、多様な企画展示やプログラムを展開。「アートを鑑賞する」から「アートを保有する」という新しいライフスタイルを、文化社会資本としてのアートを通じて人々の心と暮らしをより豊かための「新しい時代のアートとの向き合い方」を提案。そして「art stage OSAKA 2022」が契機となり、来るべき国際博覧会に向けた大阪圏におけるアート市場の活性化、アーティストやアート文化人材の育成を含めた、文化芸術振興、社会経済の活性化に寄与する。



## 【アートフェアにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

2020年9月、リアルな鑑賞・交流・購入の場として、関係各所各位や来場者にとって安全で有意義なwithコロナ時代にふさわしいアートイベントを開催すべく、3つの方針を定め(1.疑わしきは入れない(水際対策) 2.1時間100名の入場制限(三密対策) 3.完全予約登録制(追跡対策))に沿って衛生面へ配慮し運営・実施。

(名称:artTINZ produced by AFT with APCA 会期:2020年 9月17日- 21日 会場:TERRADA ART COMPLEX)

対策実施内容:靴裏消毒、サーモグラフィー検温、顔認証型非接触型受付、予約人数の制限、体調管理、マスク着用、消毒液設置、待機位置の設置、換気の徹底、施設内消毒清掃、人数制限、間隔の確保、来場者への検温・消毒・控えめな会話のお願い

## 【withコロナ時代の新しい入退場管理「顔認証入場システム」】

紙チケットを廃止し、すべての来場者に事前に顔写真及び連絡先を登録して頂く「顔認証入場システム」を導入。チケットもぎりを省略したウォークスルー形式の入場で、来場者とスタッフの身体的な接触を回避するとともに、顔認証で申込者と来場者を完全に一致させ、万の際に来場者追跡を行うことが可能となった。入場口・退場口機器を設置。来場者はもちろん出展者やスタッフなどの入館者全員にも、顔認証による入退場管理をした。約0.3秒で顔を認識できるため、混雑を緩和し、密を避けたスムーズな入場が可能。

## 【事前の健康管理と抗体検査・PCR検査を組み合わせた実証実験を実施】

一般会期初日に予約された来場予定者(任意)を対象に、事前の健康管理と抗体検査、来場当日(18日)のPCR検査を組み合わせ、ワンストップで嚴重な感染症リスク管理を行う感染症対策ソリューション「MyPass」の実証研究(※)を行った。

※AMED・令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」。(代表研究機関:株式会社アルム・東京医科歯科大学)

仕組み:事前にスマホアプリで体温や血中酸素濃度を計測し、記録。また、自宅に着く検査キットにより抗体検査を行い、感染症リスクのある来場者を特定する。事前の検査でリスクがあると判断された来場者は、当日会場にてPCR検査を実施。陰性の場合に入場をし、陽性の場合には保健所に連絡をとる。